

28年度 委員会 活動報告

利用者様に安心して過ごしていただけるよう安全でよりよい施設作りを目指し、様々な視点から安全対策や改善に努める委員会活動をしています。

防災委員会

私たち防災委員は火災だけではなく、地震や津波、台風など様々な災害に備え活動しています。

地震対策としては、施設の2階以上へ高齢者や車椅子の避難誘導の訓練、毎月行っているシェイクアウト訓練があります。

一人ひとりのかけがえのない命が助かるために活動しています。



感染症対策委員会

施設内の感染症（食中毒を含む）の発生や発生時の感染拡大を防止するため、マニュアルの見直しや勉強会を行っています。

今年度は、手洗いチェッカーを使用しての手洗い講習会、疥癬についての勉強会、食中毒についての講義と感染症が発生した場合に備え、嘔吐物処理の実技の勉強会を行いました。

高齢者は感染症等に対する抵抗力が弱いので、早期発見と早期の対応が必要となります。

感染症対策委員会主導のもと感染症の情報提供と対策について周知徹底を行ってまいります。



広報委員会

広報委員会では、明倫グループで発行しているCSRレポートの作成や広報誌「ぽー愛ニュース」を発行しています。ぽー愛施設で行われるイベントを中心に利用者様のご様子やボランティアグループのみなさまの活動などをご紹介します。また施設で働く職員が、利用者のみなさまによりよく過ごしていただけるよう介護の質の向上を目指し、日々取り組んでいる姿もお伝えしていきます。介護老人福祉施設ぽー愛をご存知ない方にもぽー愛が

どのような施設かを知っていただくために施設の特徴や雰囲気をお伝えすべく、今後も様々な視点で発信できるよう活動してまいります。



研修委員会

研修委員会では、毎月1回各部署で勉強会のテーマを考え、そのテーマに沿って勉強会を開催し、職種に関係なく、他部署の職員が学習する機会を作っています。また、職員の関心の高い研修などを聞き取りし、可能な限り、業務向上を目指し参加できるよう取り組んでおります。



4月からのお知らせ

フットケア&ネイル体験

足のトラブルは転倒リスクを高めます。巻き爪、変色、肥厚爪、タコ、魚の目など痛くて歩きにくいと歩行に影響が出てきます。外反母趾、浮腫みもケアしてみてもは如何でしょうか。ぽー愛では専門の先生がフットケアに来て下さいます。利用者様もご家族の方も、ぽー愛価格でお試し下さい。

- 爪ケア 5,000円→2,000円
- 足脳マッサージ 2,000円→1,000円



寄付一覽

平成28年4月～平成28年12月

- 武藤 コリ 様
- 中野 千恵子 様
- 加藤 美智子 様
- 株式会社GTSコーポレーション 代表取締役 加古 勇 様
- 元木 範雄 様
- 山下 佐代子 様
- 野井 彰 様
- 祖川 麻枝 様
- 武藤 義夫 様
- 小橋 佳子 様

心より御礼申し上げます。このほか多くの方にお心ごもった品をいただきました。誠にありがとうございました。



ぽー愛イベント紹介

平成28年9月から平成29年1月までに開催された利用者様向けの主なイベントをご紹介します。

12月 しめ縄づくり



第6回ぽー愛ガーデニング倶楽部を実施致しました。この倶楽部はSEA CLUBが主催、企画をして地域の方々や利用者様のご家族に参加していただいている倶楽部です。二楽園の方がボランティアで来所され、お正月用にしめ縄づくりの講座を開催。終了後、お茶会で先生に植木やお花の育て方など質問したり、世間話をしたりとても和やかなひと時でした。皆さんお忙しい中、ご参加有難うございました。

12月 音楽鑑賞会



港島学園吹奏楽部の方達が演奏に来て下さいました。クリスマスソングや演歌メドレーなどとても楽しく癒されました。一生懸命演奏される姿に涙が出そうになったと言われた利用者様もいらっしゃいました。

9月 敬老会



3階談話コーナーにて保育園の園児のみなさんと一緒に祝いしました。一緒に歌ったり、お話をしたりして利用者様の笑顔もいつもより多くみられました。子供と接することにより、いつもと違う環境になり、心が元気になっているのが見てわかるのは、とてもよい刺激だと思いました。ぽー愛最高齢108歳、さらに88歳の利用者様のお祝いなどもみなさんの前でさせていただきました。プレゼントも喜んでいただきました。一年一年を元気に笑顔で過ごしていただけるよう日々の生活のサポートをさせていただきます。

10月 運動会



玉入れにトロッコ競争、最後の締めは大玉回し!赤組に白組、両者の額にはハチマキを巻き、「打倒赤組!」「打倒白組!」と利用者様と職員一丸となりがんばりました。日頃、体をあまり動かさない方も小さな声の方も運動会となればいつもと違う姿!!時間を忘れて楽しんでおられました。

1月 銭太鼓鑑賞



今年初めての行事として、銭太鼓を披露していただきました。銭太鼓とは、出雲地方に古くから伝わる民族的な楽器で、「銭の鳴る音」を利用して踊りの伴奏に使用します。筒の中には、5円玉が6枚入っていて、2本で12枚。この12という数字が12ヶ月を意味し、「1年間の幸せをもたらす」という言い伝えがあるそうです。みなさん楽しんでに銭をならして、1年の幸せを願いました。

利用者様・家族様のために、私たちのできること。

ぼー愛では、利用して下さる方やそのご家族のために、さまざまな研修会やレクリエーションなどを行っています。

たん吸引実地研修

医療機関で行なわれたたん吸引の実地研修に参加しました。実際に利用者様を目の前にすると、講義や実習で学んだことより、実地では動きや声かけの仕方などが違い、初日は緊張し、戸惑いもありました。医療分野の処置は初めてなので、体の動きや指、手の使い方など細かい動作に集中し、器具を扱いながらの作業など介護の分野ではない動きに一日も早く慣れるよう努力を続けています。実地研修を終えると、実際の現場ではひとりで対応しなければなくなるので、利用者様に安心していただけるように実地研修後も施設看護師に指導を仰ぎながら携わっていききたいと思います。



スポーツレクリエーション

第2、第4水曜日、デイサービスでは、谷川原インストラクターによるスポーツレクリエーションを行っています。シナプソロジーとよばれる足腰が弱っている高齢者の方や後遺症で下肢が不自由な方でも参加できるレクリエーションです。始まる前に利用者様の体調をお聞きして無理なく参加していただいています。体を動かすことにより普段、会話されない方も隣の方と会話されたり、初め出来なかった方も後半出来るようになると、笑顔で「汗が出た」と楽しまれています。

*シナプソロジーとは

「2つのことを同時に行う」「左右で違う動きをする」といった普段慣れない動きで脳に適度な刺激を与え、活性化を図ります。複数人で楽しく行うことで、感情や情動に関係した脳も活性化され、認知機能や運動機能の向上と共に、不安感の低下も期待できます。笑顔やコミュニケーションが生まれるので、楽しく続けられるのがこのプログラムの魅力です。じゃんけん、ボール回しといった基本動作に対し、五感からの刺激や認知機能への刺激を変化させつづけ、それに反応することで脳を活性化させていきます。



遠足(神戸どうぶつ王国)

利用者様、家族様とボランティアの皆様にお手伝いいただき、神戸どうぶつ王国に行ってきました。利用者様も動物にお話かけたり、マネをされたりと楽しく過ごされていました。実際に動物に触れることもでき、暑さの中、みなさんすごく元気で楽しんでいたため、職員一同とてもうれしかったです。また、今年も利用者の皆様と一緒に遠足に行けることを職員一同楽しみにしています。



ボランティア紹介

アテンド・クルー

アテンド・クルーは、神戸市が主催する「生活支援・介護予防サポーター養成研修」の終了生で複数人でグループを構成するボランティアグループです。活動場所は主に在宅に関連する高齢者施設や、日常生活を営む上で困難を抱えた高齢者の居宅などになります。ぼー愛では毎週、紙芝居、元気体操、ぼー愛農園の手入れ、利用者様とコミュニケーションを取って頂いたり、車椅子の実習にも参加して頂いております。



地域のために、私たちのできること。

わたしたちも地域の一員として、周辺住民の方々と交流を深め、高齢の方が安心して暮らせるまちづくりに貢献したいと様々な活動を行っています。

二宮給食会

平成28年6月16日三宮あんしんすこやかセンターの職員と共に、二宮給食

会に参加し、「家庭できる食中毒予防」と題して原因となりやすい食材や対策方法など簡単なお話をさせて頂きました。特に全国的にみても発生件数・患者数共に多い、ノロウイルス・カンピロバクター・黄色ブドウ球菌・アニサキス食中毒を中心に話をさせて頂きました。皆さん真剣に聞いてくださり、終わりには質問も飛び出しました。「家では食べ物をすぐに冷蔵庫にいれます」「見えないけど菌ってあるんやね」などの感想も頂くことが出来、少しでも食中毒予防を意識して頂けたと感じました。



ポー住喫茶(お茶会)

港島地区内にて、いくつかの地域及び老人会のお茶会が開催されています。ぼー愛

居宅介護支援事業所の職員も定期的に参加させていただき、地域の方々との交流を図っています。お茶会では、介護保険についての勉強会、その季節に応じた体調面で留意する点、日々の簡単な運動方法などお話をさせていただいており、管理栄養士が同行した際には、食中毒について衛生面、食品の取り扱い方法を紹介しました。いろいろな方との交流により、演奏ボランティアの方にご来所いただいたほか、ぼー愛夏祭りにご参加くださった方も増えました。今後は港島地区内での勉強会や独自の楽しみの会を企画し、ぼー愛居宅介護支援事業所としてもっと地域の方に覚えていただき、交流の機会を増やしていきたいと考えております。



北野地区もちつき大会

平成28年12月11日北野地域福祉センターにて行なわれた北野ふれあいまちづくり協議会主催によるもちつき大会に参加させていただきました。毎年恒例の行事とのこととたくさんの地域の方々が輪となり、力強いお父さんたちだけでなく、小さなお子さんや外国の方も力いっぱい杵を振り下ろす姿が見られ、盛況なもちつき大会でした。つきあがったおもちは、その場で大根おろしや餡を添えてふるまわれ、笑顔あふれる楽しい一日となりました。このような催しがきっかけとなり、世代や国籍を越えて地域住民の交流を深め、街の活性化につながるのだと感じました。



新人職員紹介



平成28年の春に新卒で入職した介護職の萩原未帆さんです。

- Q1 入職して1年たちますが、学んだことはなんですか？
A1 コミュニケーションの大切さ、利用者様の人物像を理解することの大切さを学びました。カルテをよく読み、ご本人やその家族様とよく話をすることで理解を深めました。一人ひとりに対し、その方に合った話しかけ方や使う言葉を考えて対応しています。
- Q2 実際に働いてみて大変だと感じたことはなんですか？
A2 同じことを聞かれる利用者様に対する返答にいろいろ迷いました。先輩職員からアドバイスを受けながら、自分の対応を見直しました。同じ質問に対しても違った視点から返す答えを変えてみることで、話の広がりを感じ、会話が楽しくなりました。
- Q3 今後の目標を教えてください。
A3 利用者様の症状や状態は日々変わっていくので、その時々々の状態を常に把握しておくことを心がけたいと思っています。そして、いつも心地よく過ごしていただけるように利用者様のことを理解し、その状態に合わせて丁寧に接することを目指していきたいです。